

日本物理学会 物理教育委員会
第 80 期(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)活動報告書

第 80 期物理教育委員会委員長 齋田 浩見

日本物理学会物理教育委員会（以下、「本委員会」）の第 80 期の活動は以下の通りであった。

I. 構成員と会議

1. 構成員（全 14 名）

委員長 齋田 浩見（大同大学）
委 員 高須 雄一（聖マリアンナ医科大学） 今井 章人（早稲田中学・高等学校）
太田 寛人（同志社大学） 大山 光晴（秀明大学）
岡本 敦（名古屋大学） 斉藤 準（帯広畜産大学）
鈴木 勝（電気通信大学） 鈴木 康夫（拓殖大学）
土佐 幸子（新潟大学） 鳥井 寿夫（東京大学）
中村 仁（電気通信大学） 中村 琢（岐阜大学）
松本 益明（東京学芸大学）

2. 会議

- ・次のとおり全 4 回をオンライン開催した。

2024 年

第 1 回 5 月 17 日 第 2 回 8 月 1 日 第 3 回 11 月 1 日

2025 年

第 4 回 2 月 20 日

II. 活動方針

- ・例年同様に、小中学生向け企画（物理教室、世田谷区理科教室）、高校生・一般向け企画（公開講座）、教員向け企画（物理教育シンポジウム、基本実験講習会）などを開催し、物理教育の普及および教員支援活動を行う。
- ・物理教育に関連する事項について審議・検討する。

III. 主な検討・活動内容

1. 物理教育シンポジウムの開催

- ・第 15 回物理教育シンポジウムを次の通り企画し、現地会場とオンライン配信(Youtube Live)でのハイブリッドで開催した。
テーマ:「物理教育における高大接続の課題点と今後の展望 ～中教審答申から 10 年を機に～」
日時: 2025 年 3 月 29 日(土) 13:00～16:50
場所: 星陵会館(東京都千代田区)と YouTube 配信のハイブリッド開催
参加者数: 169 名
[詳細ページ(物理教育シンポジウム)] <https://www.jps.or.jp/public/edsympo/2025edsympo.php>

2. 公開講座の開催

- ・本会は、高校生を中心に一般市民を対象とした公開講座を主催している。このうち、本委

員会では、東京地区で開催される理事会企画の原案作成・準備および実施を担当している。
本公開講座が理事会企画であること、および毎年科学研究費助成事業「研究成果公开发表(B)」に応募していること等を考慮し、原案作成は開催の一年以上前に行っている。

<2024 年度>

- ・次の通り現地会場、オンライン配信 (Youtube Live) でのハイブリッドにて開催した。
本事業は令和 6 年度研究成果公开发表(B)として採択された。
講師より許可された講演は配信動画を編集し、本会ホームページ上で講演動画を公開した。

企画名:「時空、ブラックホール、重力波・・・ってなに? ～基礎から深みまで～」

期日: 2024 年 11 月 24 日(日)13:00～16:45

場所: 星陵会館ホール (東京都千代田区) およびオンラインでのライブ配信

参加者数: 現地参加者数 147 名、Youtube Live 視聴者数 771 名 計 918 名

[詳細ページ (2024 公開講座)] <https://www.jps.or.jp/public/koukai/koukai-2024-11-24.php>

<2025 年度>

- ・次期においては次の通り開催を計画し、令和 7 年度科学研究費助成事業「研究成果公开发表(B)」に応募した。

企画名:「物性研究を味わおう～原子や電子の動きから探る物質の性質～」

期日: 2025 年 11 月 9 日(日)

3. 物理教室の開催

- ・日本物理教育学会、国立科学博物館との主催で、様々な実験を通して楽しみながら物理の現象を学ぶことができる小学生高学年・中学生向けの体験型実験教室「自然の不思議ー物理教室」を開催している。
- ・2024 年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、以下、全 5 回開催した。

第 1 回 6 月 15 日(土) 「光の科学」

第 2 回 6 月 23 日(日) 「紙の花が水面で開くのはなぜ？」

第 3 回 7 月 21 日(日) 「地球外惑星着陸船のモデル機を作ろう」

第 4 回 7 月 28 日(日) 「電場 (エレクトリックフィールド)・磁場 (マグネティックフィールド)・を体感しよう！」

第 5 回 8 月 3 日(土) 「音の不思議を体験しよう！」

第 6 回 8 月 24 日(土) 「光の実験と工作を楽しもう！」

[詳細ページ (物理教室)] <https://www.jps.or.jp/public/middles.php#jikken>

4. 世田谷区理科教室の開催

- ・本会は世田谷区教育委員会が主催する「才能の芽を育てる体験学習～サイエンスドリーム」に協賛し、物理や科学の面白さ・驚きを体感できる実験教室を開催している。
- ・2024 年 7 月 27 日 (土)、昨年度同様電気通信大学において対面開催した。

5. 基本実験講習会の開催

- ・本会 (支部を含む) は、物理教育研究会(APEJ)、日本物理教育学会 (支部を含む) と共に、物理の授業で実験を行う機会が減っている現状を改善するため、教員を元気づけ、実験を奨励する取り組みとして「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会」を全国で開催している。

＜東京会場（第 17 回）＞

- ・ 本会と物理教育研究会(APEJ)との主催により、次のとおり開催した。
日時：7 月 14 日(日)、7 月 15 日(月祝)の 2 日間、計 8 テーマ実施。
会場：麻布中学校高等学校
主催：物理教育研究会(APEJ)、日本物理学会
共催：日本物理教育学会
協賛：学術図書出版社
参加者数 48 名、インストラクター 33 名、事務局 6 名、オブザーバー 1 名

6. JABEE への協力

- ・ 本会は、JABEE の「物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野（物理応物関連分野）」を応用物理学会とともに担っており、JABEE に関する事項は本委員会で審議・検討を行っている。
- ・ JABEE「物理応物関連分野」に関しては、発足当初は 11 の学協会が参加し、「JABEE 連絡協議会」を設置して「物理応物関連分野」を運営してきた。しかし所属学協会の脱退が続き、2023 年 5 月には本会と応用物理学会の 2 学会だけになってしまった。
- ・ 2025 年度より日本物理学会が事務局機能を引き受ける事となっているため、昨年度の本委員会の議論を踏まえ、JABEE 委員会の設立（本委員会から独立させる）を理事会に申請し承認された事、JABEE 委員会の規程も承認された事が報告された。
- ・ 2025 年 4 月から、JABEE 関連は本委員会から独立し、本会の JABEE 事務機能と合わせて正式に JABEE 委員会として発足する（委員長は鈴木康夫委員）。

7. 年次大会総合講演の講師推薦

- ・ 例年本委員会より講師候補推薦を審議している。第 80 回年次大会（2025 年）（広島大学）の総合講演講師候補について審議を行い、物理教育委員会からは、推薦しない事とした。

IV. 物理教育関連活動の報告

- ・ 物理教育に関する各種活動について、関係する委員・職員から活動状況が報告された。
 - － 「大学の物理教育」誌（大学の物理教育編集委員会）
Vol. 30 No. 2～Vol. 31 No. 1 の編集・刊行。
 - － Jr. セッション（Jr. セッション委員会）
第 20 回日本物理学会 Jr. セッション（2024）（2024 年 3 月 16 日(土)/オンライン開催）の実施報告。
第 21 回日本物理学会 Jr. セッション（2025）（2025 年 3 月 15 日(土)/オンライン開催）の応募状況・審査状況・採択件数について。
第 21 回は Jr. セッション後、2025 年 3 月 28 日（金）に東京農工大学（小金井キャンパス）にて現地最終フォローアップ発表会を行った。
 - － 物理チャレンジ・物理オリンピック（本会は共催）（本会は JPhO の正会員）
（ヨーロッパ物理オリンピック（EuPhO2024）について）
 - ・ ヨーロッパ物理オリンピック（EuPhO2024）ジョージア大会（7 月 15 日（月）～19 日（金））に 5 名参加し、参加生徒は以下の好成績を上げた。

金メダル1名、銀メダル2名、銅メダル1名、優秀賞1名

・7月22日に文科省と共同プレスリリースされていることが報告された。

(アジア物理オリンピック (APhO2024) について)

・第24回アジア物理オリンピック (APhO2024) マレーシア大会 (6月3日(月)～9日(日))に8名参加し、参加生徒は以下の好成績を上げた。

金メダル1名、銅メダル7名。

(物理チャレンジについて)

・本年度の物理チャレンジ申込者は1061名であり、実験課題レポート(5月31日締め切り)と理論問題コンテスト(7月7日)が行われ、実験課題レポートと理論問題コンテストの両方への参加者から約100名を第2チャレンジへの参加者として選考した事が報告された。

第2チャレンジは8月20日(火)～23日(金)にSpring8で実施された。

－ 夏学 2024 実験実習関係

8月に実施された実験実習やポスター、進路・キャリア相談カフェの様子が報告された。

その他関連資料が回覧された。

－ ダイバーシティ推進委員会関係

10月に委員会が開催され、国際物理オリンピック 2023 記念事業の補助金申請について検討する中で、中高生に向けて様々な分野の研究をもっとわかりやすく紹介できるプロジェクトやメディア作成をしてはどうかという話題が出た。今回は、様々な関連団体と協力して進める方が良いという事になり、ダイバーシティ推進委員会では上記補助金申請をしない事となった旨、報告された。

－ その他

…国際物理オリンピック 2023 記念事業の補助金申請について

物理教育シンポジウムと Jr. セッション事業での申請を行ったが、総合的判断により、取り下げを行った。

以上